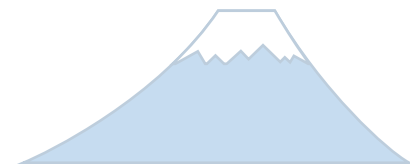


山梨県における 「空の移動革命」 実現に向けて

2024年2月16日

山梨県知事政策局

リニア未来創造・推進グループ



- はじめに
- 山梨県の概要
- 山梨県の取り組みについて
（R5年度事業）
- 今後について

- **はじめに**
- 山梨県の概要
- 山梨県の取り組みについて
(R5年度事業)
- 今後について

リニア未来創造・推進グループの役割・所管業務

リニア未来創造・推進グループ

リニア推進

- ・リニア中央新幹線の普及啓発

ビジョン・未来創造推進

- ・リニアやまなしビジョンの推進
(実証実験サポート事業)
- ・**空飛ぶクルマ**の社会実装の促進

次世代交通推進

- ・先進交通技術の導入に関する調査・研究
(自動運転、空港可能性検討)

はじめに

リニア開業 ⇒ 東京・品川から約25分、名古屋から約45分

沿線地域の
取り組み

リニアのインパクトを活かす、 沿線地域のまちづくり。

奈良県



平城宮跡大極殿
奈良県は、中国や韓国との深い交流の歴史に裏打ちされた「ゆかり」を示す歴史文化遺産や世界遺産を多く有しています。
リニア中央新幹線は、新しい国土軸として、人々の交流を飛躍的に拡大し、奈良県の観光、文化、産業等の発展に大きく寄与します。
奈良県においては、三重・奈良・大阪ルートを前提としたルートと「奈良市附近」駅の早期確定及び一日も早い全線開業を目指した取り組みを推進しています。

岐阜県



中道馬籠宿
リニア中央新幹線の開業効果を県内全域に波及させるため、県、県内全市町村、観光団体、経済団体及び有識者で構成する「岐阜県リニア中央新幹線活用戦略研究会」において、観光振興・まちづくり、産業振興、基盤整備の3つの観点からの地域づくり戦略である「リニア活用戦略」を策定し、活用戦略の具体化に向けた取り組みを進めています。

長野県



伊那谷と南アルプス
本県の南の玄関口となる伊那谷は、中央アルプス、南アルプスに囲まれ、日本で唯一、2つのアルプスを眺めることができ、四季折々の豊かで美しい自然に恵まれた地域です。
長野県では、リニア中央新幹線開業を見据えた地域づくりの指針として、「長野県リニア活用基本構想」、「リニアバレー構想」を策定し、リニアの整備効果を、経済の活性化、交流人口の拡大などに結び付け、県全域の地域振興につなげるための取り組みを進めています。

山梨県



富士山と桜の花
リニア中央新幹線の開業を契機に、本県が国内外の多くの皆様の目的地として選ばれるものとなるよう、「リニアやまなしビジョン」を策定し、テストベッド(実証実験の場)の聖地化などの取り組みを進めています。
また、県内全域にリニアの開業効果を波及させるため、道路整備によりリニア駅と県内各地との移動時間を短縮するほか、リニア駅と県内の主要拠点を結ぶバス交通の整備を目指すなど、アクセスの向上に取り組んでいます。

東京都



品川駅周辺の街並み
リニア中央新幹線の始発駅となる品川駅周辺地域では、羽田空港の国際化等を契機に、国内外の広域交通の拠点性を強化し、魅力ある業務、商業、研究、交流、宿泊、教育、文化などの多様な機能が集積する新たな国際交流拠点地を形成します。

大阪府



2025年万博 大阪・関西に決定国を挙げて露致活動を展開してきた2025年日本万国博覧会の大阪開催が決定されました。これを契機として、大阪・関西へ広がる訪問客の増加を促し、リニア中央新幹線の全線開業へとつなげることで、わが国のさらなる成長・発展が期待されます。
リニア中央新幹線が、わが国の経済成長や国土の強靱化に大きく寄与するという観点から、自治体・経済界とともに、早期全線開業の実現に向けた取り組みを進めています。

三重県



伊勢神宮宇治橋
三重県は、古来、日本書紀に「美し(みよし)国」と記されているように、風光明媚で、豊かな土地柄、食材にも恵まれた地域であるとともに、中部圏と近畿圏の中間に位置しています。
リニア中央新幹線の開業により、県域を越えた広域的な交流・連携が一層進み、産業や観光などの発展に大きく寄与することが期待されます。
三重県では、三重・奈良・大阪ルートを前提としたルートと亀山市内駅位置の早期確定及び一日も早い全線開業に向けた取り組みを進めています。

愛知県



名古屋駅周辺の街並み
リニア中央新幹線の開業により、一層高まる当地域のポテンシャルを最大限に発揮していくため、名古屋都心部の高次都市機能の集積に向け、拠点性を高めていくとともに、圏域内の活力ある主要都市が役割を分担しつつ連携する多様連携型の都市構造を維持・強化していきます。そのための基盤として、鉄道の利用性向上などにより名古屋駅から大都市圏内主要都市へへの40分交通圏の拡大を図るとともに、高速道路路線の整備や活用を進めています。

静岡県



富士山と茶畑
静岡県にとって、リニア中央新幹線の整備は、東海道新幹線の活性化につながります。すなわちリニア中央新幹線の開業後は、「のぞみ」機能がリニアに移ることになり、「ひかり」と「こだま」の増発・増停車により、静岡県内からの東西への移動がはるかに促進されます。また、沿線地域はもとより、県内全域の活性化が期待されます。

神奈川県



神奈川駅周辺の街並み
リニア中央新幹線神奈川県の設置にあわせ、誰もが行きたくなる駅、魅力あるまちづくりを進め、全国との交流・連携の窓口となる「北のゲート」を形成します。
また、「南のゲート」の核となる東海道新幹線新駅の誘致や、南北のゲートを繋ぐ交通軸の強化により、多様な交通ネットワークの充実を図ることで、リニア中央新幹線の整備の効果を県全体に波及させていきます。



※1 東京都・名古屋市の路線及び駅位置は、JRA東海中央新幹線(品川-名古屋間)工事実施計画(令和11年度第2回)10月17日現在に基づいています。
※2 名古屋市・大阪市のルート並びに主要な駅位置は、交通政策推進委員会中央新幹線小委員会第3回(平成28年10月)の最終報告書(平成28年10月)に基づいています。
※3 三重県、奈良県、大阪府の各駅位置は、位置され5駅の位置は未定。

リニア中央新幹線(品川-名古屋間)の概要

路線延長	285.6km (構造物種別) トンネル:246.6km(約86%) 高架橋:23.6km(約8%) 盛りよう:11.3km(約4%) 踏切:4.1km(約1%) (山梨リニア実験線を含む)
車両基地	関東車両基地(仮称)(神奈川県相模原市緑区八雲) 中部総合車両基地(仮称)(岐阜県中津川市千旦林)
付帯施設	変電施設:10箇所 保守基地:8箇所(保守用車両置留施設含む) 非常口(都市部):首都圏9箇所 中部圏4箇所 非常口(山間部):34箇所
総工費	5,615.235億円(※)
所要時間	40分

(※)JR東海は、令和3年4月27日に品川-名古屋間の総工費について、約5,615.235億円の概算となることを発表。

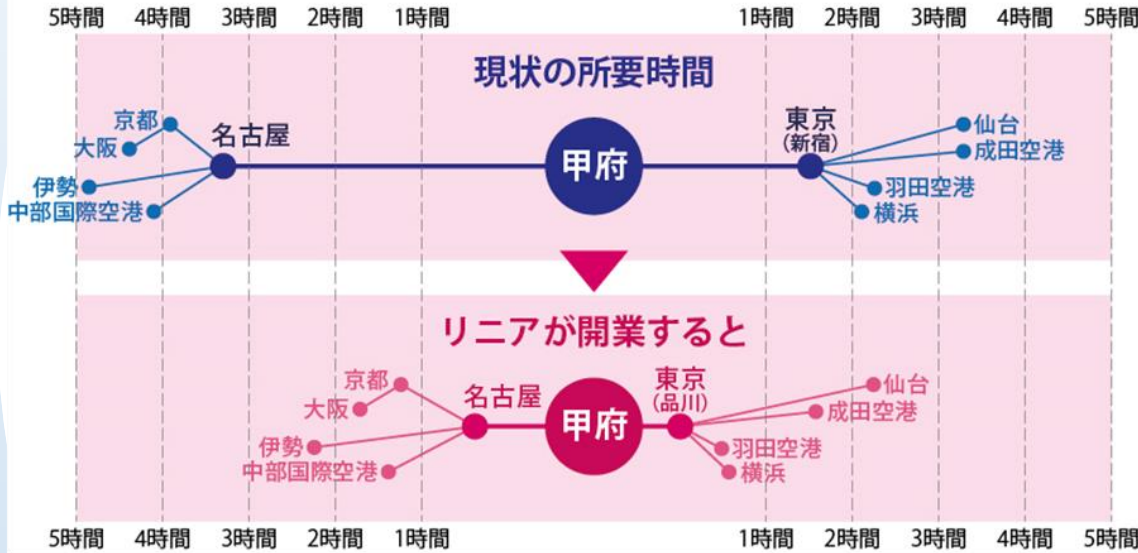
リニア中央新幹線各駅間の距離

都県	①品川駅	②神奈川(仮称)駅	③山梨(仮称)駅	④長野(仮称)駅	⑤岐阜(仮称)駅	⑥名古屋駅
駅位置	ターミナル駅(地上)	中間駅(地下)	中間駅(地下)	中間駅(地上)	中間駅(地上)	ターミナル駅(地下)
駅位置	港区港南 (東海道新幹線品川駅地下)	相模原市緑区八雲 (JRA橋本駅付近)	甲府市大津町字入田	館田市上郷飯沼	中津川市千旦林字坂本	名古屋市中村区名駅 (東海道新幹線名古屋駅地下)
拠点からの距離	0km	約38km	約110km	約180km	約220km	約206km
終点からの距離	約286km	約246km	約176km	約106km	約66km	0km

中央新幹線(品川-名古屋間)工事実施計画(令和11年度第2回)10月17日現在に基づいています。

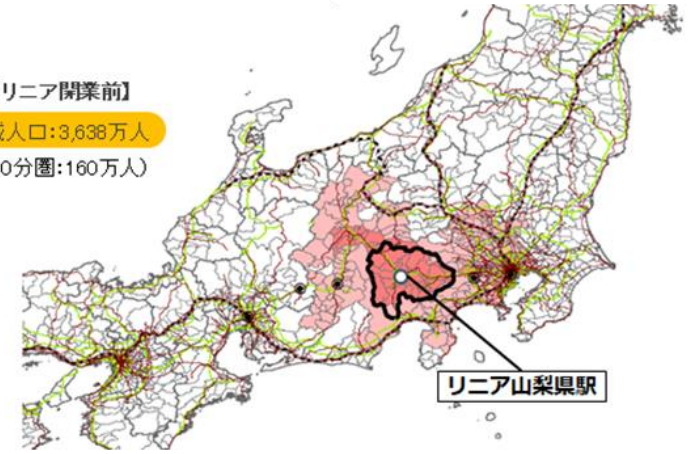
リニア開業は本県における移動のありようが変わる劇的なインパクト

〔リニア開業による時間距離の短縮〕

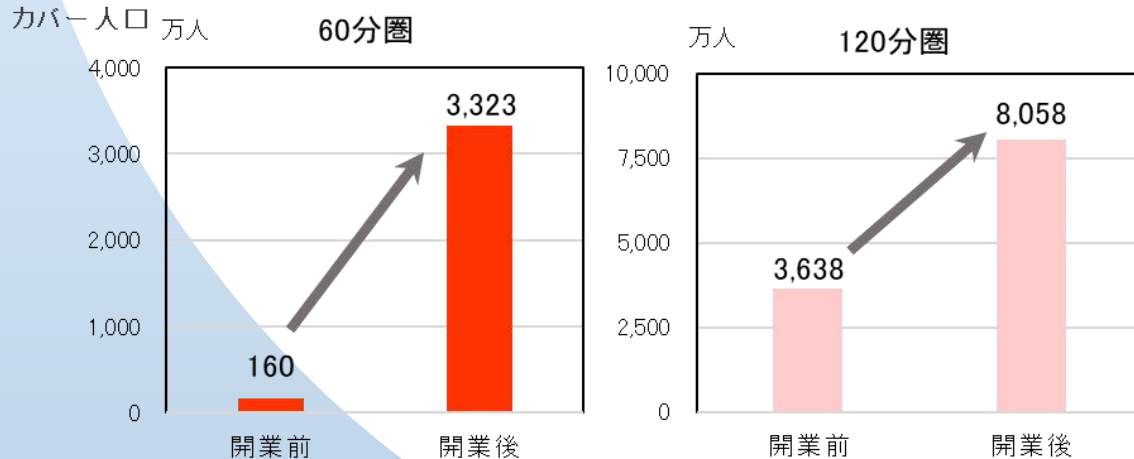


【リニア開業前】

【リニア開業前】
圏域人口:3,638万人
(60分圏:160万人)

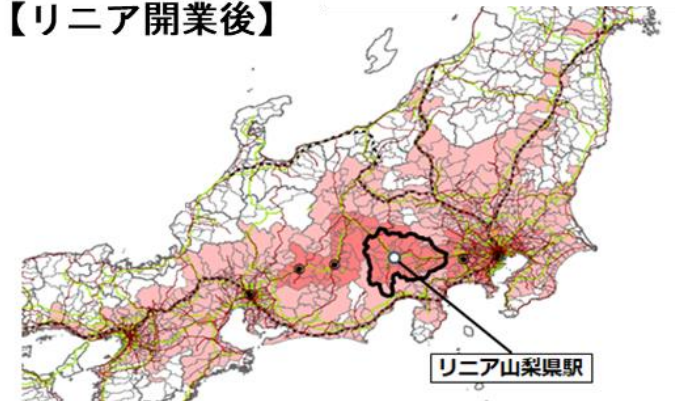


〔交流可能な経済的勢力圏の広がり (60分圏、120分圏)〕



■ 60分圏 ■ 120分圏

【リニア開業後】



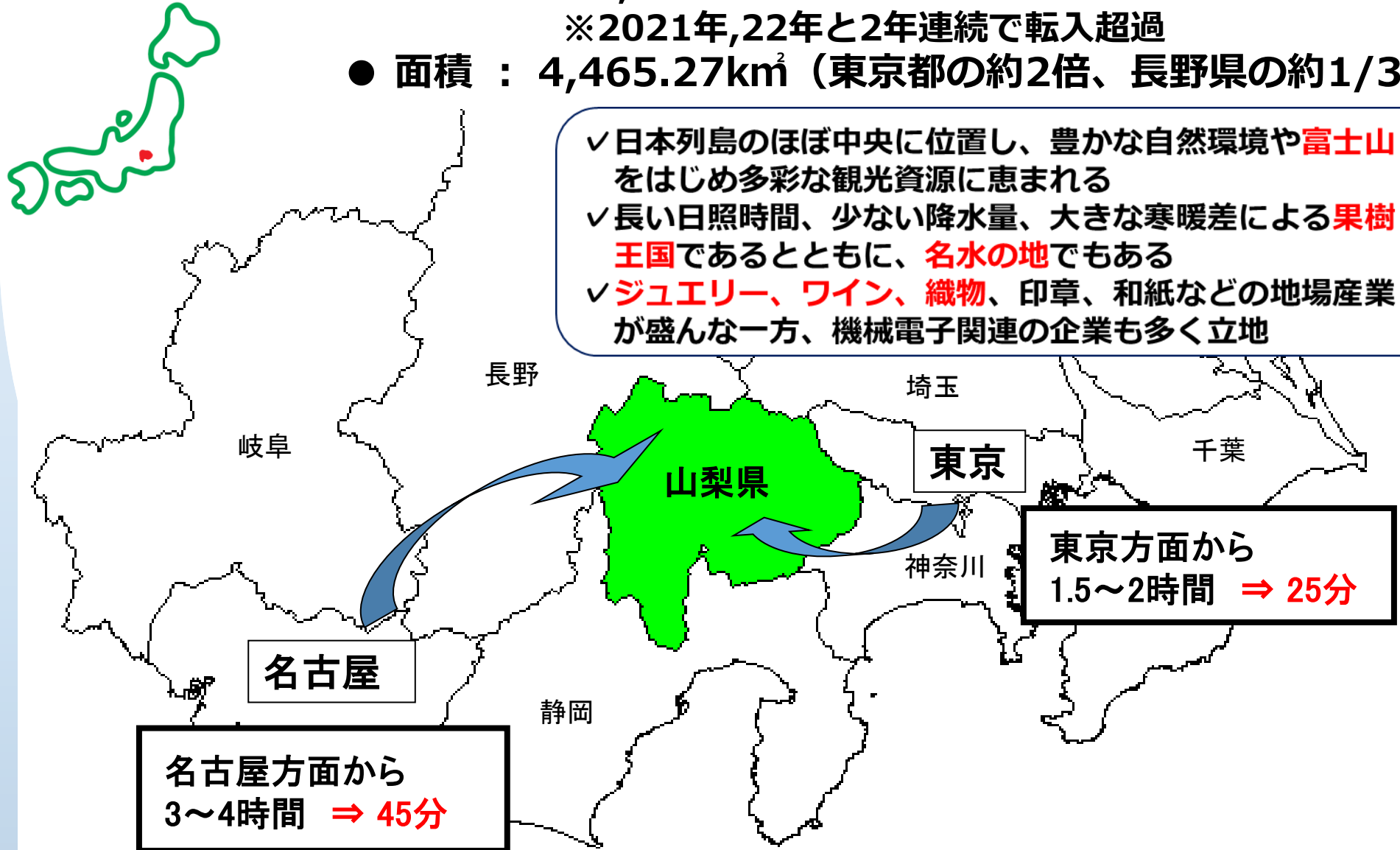
- はじめに
- **山梨県の概要**
- 山梨県の取り組みについて
(R5年度事業)
- 今後について



日本列島の中心に位置する海なし県

- 人口 : 794,204人 (2024年1月1日現在)
※2021年,22年と2年連続で転入超過
- 面積 : 4,465.27km² (東京都の約2倍、長野県の約1/3)

- ✓ 日本列島のほぼ中央に位置し、豊かな自然環境や富士山をはじめ多彩な観光資源に恵まれる
- ✓ 長い日照時間、少ない降水量、大きな寒暖差による果樹王国であるとともに、名水の地でもある
- ✓ ジュエリー、ワイン、織物、印章、和紙などの地場産業が盛んな一方、機械電子関連の企業も多く立地



名古屋方面から
3~4時間 ⇒ 45分

東京方面から
1.5~2時間 ⇒ 25分

魅力的な資源が県内各地に点在



ほうとう
(県内全域)
「うまいもんだよ カボチャのほうとう」といわれ、誰もが知る山梨県の代表的な郷土食。武田信玄公が考案した陣中食であったといわれているが、文献上は江戸時代以降に多く登場する。戦前地域では「し入れ」「し込み」とも呼ばれている。



鳥もつ煮
(甲府市)
鶏の砂肝、ハツ、レバーなどを甘辛く濃厚なしょうゆダレで照り煮した甲府独自の料理で、市内のそば屋やほうとう屋の定番メニューとなっている。「B1グループ」でゴールドグランプリを受賞し、山梨の郷土食として全国区となった。

ワイン



日本ワインコンクール2022 全賞受賞ワイン

山梨県は日本のワイン醸造発祥の地であり、都道府県別ワイナリー数、日本ワインの生産量とも日本一です。約90ものワイナリーが数多くの銘柄のワインを醸造しており、中でも、日本固有のブドウ品種「甲州」で造られる白ワインは、和食に合う味わいが特徴で、和食ブームが続く海外でも注目されています。

日本酒

令和3年に指定を受けたGI「山梨」の日本酒は、仕込み水の水系が限定されているのが特徴。柔らかく透明感のある味わいは、塩気を感じさせる料理との相性が抜群です。



提供：山梨県酒造協同組合

・温泉は各エリアに点在
・ほかにも魅力ある場所がたくさんあります

主な山

日本の高い山トップ3が山梨にあります。



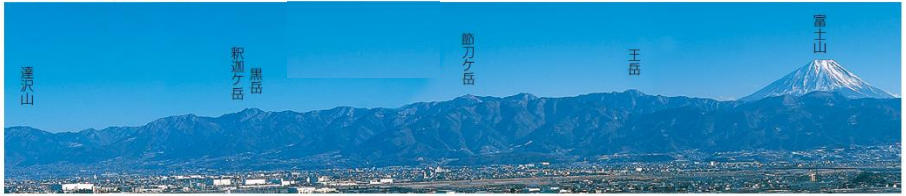
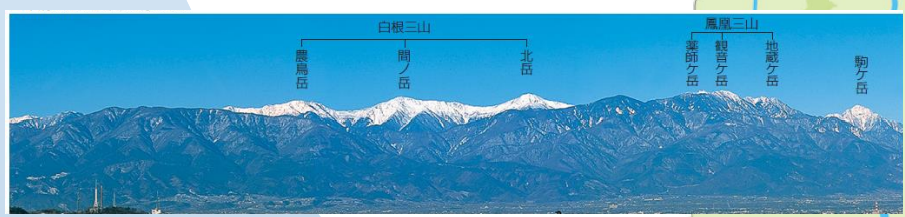
世界遺産

	(標高)	(標高)
富士山	3,776m	駒ヶ岳 2,967m
		赤岳 2,899m
北岳 3,193m		観音ヶ岳 2,841m
間ノ岳 3,190m		薬師ヶ岳 2,780m
仙丈ヶ岳 3,033m		地藏ヶ岳 2,764m
農鳥岳 3,026m		鳳凰三山

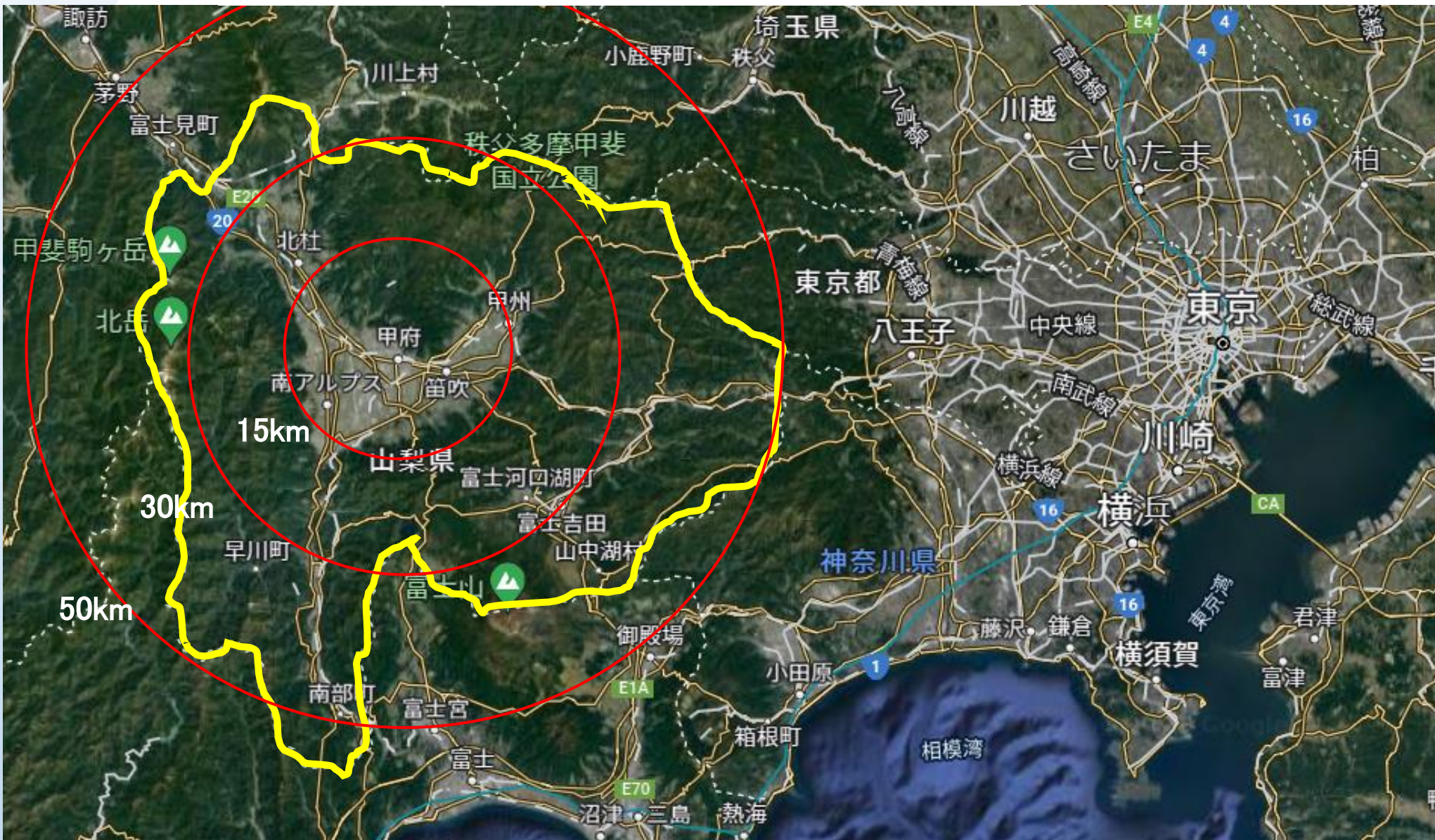
資料:国土地理院



甲府盆地



半径約50km円におさまるコンパクトな県



<まとめ>

- ✓ 半径50km円におさまるコンパクトな地形
80万人弱という人口 **適度な規模感**
- ✓ 豊かな自然環境に育まれた**多彩なフィールド**
(実証フィールドとしても最適)
- ✓ 東京圏と容易に行き来できる**立地環境**

 **本県の地域特性 = ポテンシャル**

- はじめに
- 山梨県の概要
- **山梨県の取り組みについて
(R5年度事業)**
- 今後について



リニア中央新幹線の開業という歴史的な好機を生かし、世界に開かれた山梨の実現を目指すため、R 5 年度から予算（R5.6月補正）を確保し、「空の移動革命」に向けた取り組みを開始

- 空飛ぶクルマ社会実装検討事業
山梨県版ビジネス環境調査業務（委託）
- 空飛ぶクルマ理解促進事業
 - ・ **映像コンテンツ制作業務（委託）**
 - ・ **体験イベント等実施業務（委託）**

ビジネス環境の整備

山梨県版ビジネス環境調査業務

山梨県における「空の移動革命」実現に向けて

山梨県では、リアと空飛ぶクルマの組み合わせによる二次交通の充実や、将来的には空飛ぶクルマが交通インフラの一つとして浸透することで、山梨県のポテンシャルの最大化や地域課題の解決を目指します。

- なぜ山梨県で空飛ぶクルマの実現を目指すのか？
 - 地域課題の解決

山梨県は、人口減少に伴って深刻化する人口減少と高齢化の課題を抱え、観光や地域振興の面で課題を抱えています。空飛ぶクルマの活用により、観光や地域振興の面で課題を抱えている山梨県に、空飛ぶクルマの活用による新たな価値を生み出すことが期待されています。
 - 空飛ぶクルマの利便性の向上

山梨県では、観光や地域振興の面で課題を抱えている山梨県に、空飛ぶクルマの活用による新たな価値を生み出すことが期待されています。
- 空飛ぶクルマの利便性の向上
 - 山梨県では、観光や地域振興の面で課題を抱えている山梨県に、空飛ぶクルマの活用による新たな価値を生み出すことが期待されています。

観光・ビジネス用途では、観光・来賓者の観光地への移動や出張時の移動での活用、及び地域交通用途では、地域住民の定着に活用することを想定しています。

山梨県知事政務局リニア未来創造・推進グループ

山梨県 山梨県政務局

社会受容性の向上

映像コンテンツ制作業務



体験イベント等実施業務

山梨での「空」の可能性、一緒に考えてみませんか？

「やまなし空のモビリティフェス」

ビジネス参入セミナー

【日時】 令和6年2月16日(金) 13:30-16:30
【場所】 イオンモール甲府昭和(イオンホール)

山梨県 山梨県政務局

見て・触れて・考えよう！
空飛ぶクルマがある未来

やまなし空のモビリティフェス

2024年2月16日(金)・18日(日)

時間 10:00~17:00
場所 イオンモール甲府昭和
さくら広場、イオンホール、2F・3Fさくら北ブリッジ

空飛ぶクルマ体験機種

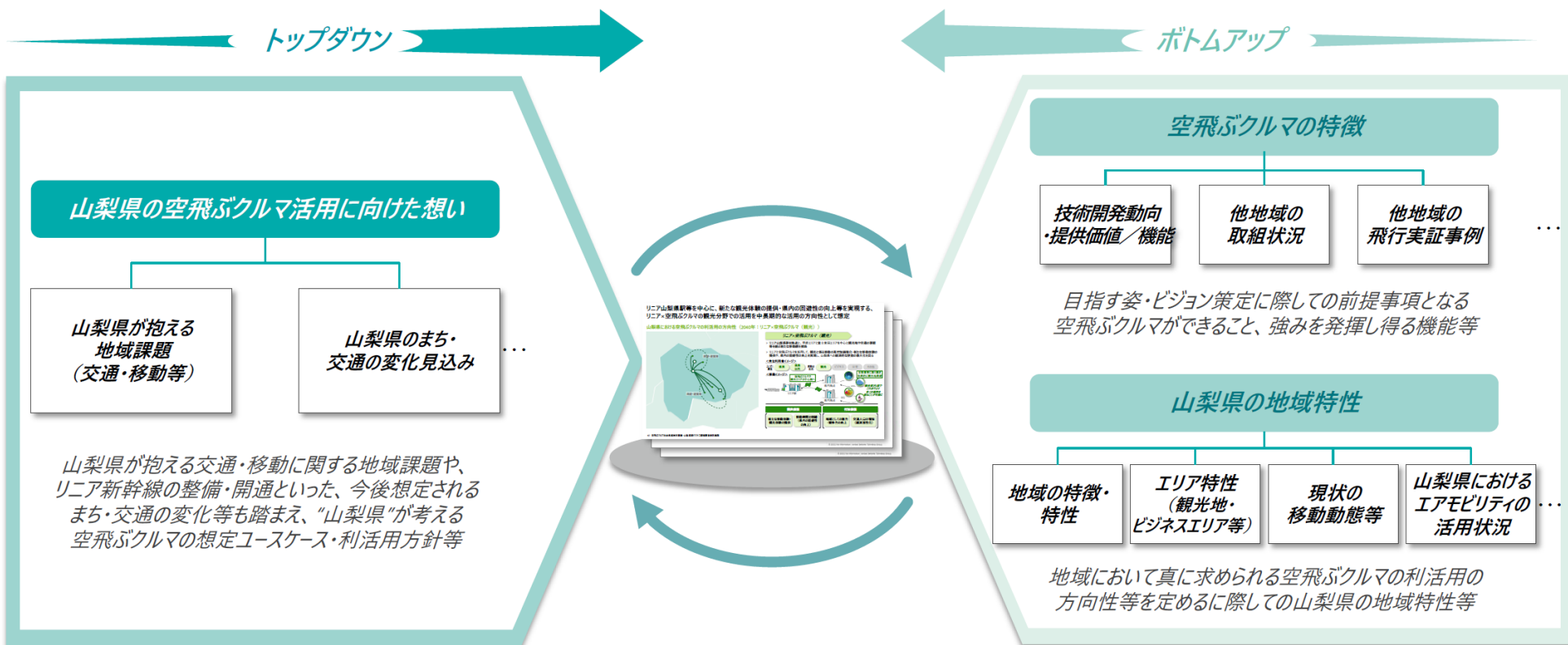
- テトラ (Tetra)
- ドローン体験機種
- ドローン体験機種
- ドローン体験機種

その他、グッズスタンプラリーや、お城探検ワークショップなど、楽しい企画が盛りだくさん！

山梨県 山梨県政務局

「山梨県の空飛ぶクルマ活用に向けた想い」といったトップダウンの要素と、「空飛ぶクルマの特徴」・「山梨県の地域特性」といったボトムアップの両要素から目指す姿・ビジョンを策定

山梨県における空飛ぶクルマに係る目指す姿・ビジョン策定の考え方



なぜ山梨県で空飛ぶクルマの実現を目指すのか？



- **ポテンシャルの最大化**
- **地域課題の解決**



なぜ山梨県で空飛ぶクルマの実現を目指すのか？



● ポテンシャルの最大化

- ✓ 半径50km円におさまるコンパクトな地形
80万人弱という人口 **適度な規模感**
- ✓ 豊かな自然環境に育まれた**多彩なフィールド**
(実証フィールドとしても最適)
- ✓ 東京圏と容易に行き来できる**立地環境**

地域特性を生かした「テストベットの聖地化」

富士山をはじめとする観光資源を活用した高付加価値化

リニアと空飛ぶクルマの組み合わせによる二次交通の充実



世界に開かれた山梨の実現

なぜ山梨県で空飛ぶクルマの実現を目指すのか？



● 地域課題の解決

- ✓ 人口減少に伴う利用者減少等により公共交通は厳しい状況にある一方で、**高齢者の増加**によりその果たすべき役割はより重要なものに。
- ✓ 既存インフラである道路やトンネル等の維持管理に今後も**多額のコスト**が見込まれる等、マイカー保有率の高い本県は様々な地域課題を内包
 - ・ 例えば、交通不便地域において自律飛行が可能な空飛ぶクルマを活用することで、担い手不足に悩む公共交通の下支えとなることも。
 - ・ 将来的には、本県の交通インフラの一つとしてに日常生活に浸透することで、マイカーがなくても活動機会が損なわれない生活に。



誰もが住み慣れた地域で豊かさを
実感できる山梨の実現

山梨県における空飛ぶクルマの利活用の方向性

リニア×空飛ぶクルマによる新たな価値創造 ～新たな移動・交通手段としての活用～

地域交通課題の解決 ～地域の移動・交通手段としての活用～

01、観光



観光に際しての移動・交通手段として

リニア中央新幹線等で本県を訪れる観光客向けの、新たな県内観光地への移動手段としての利活用等

02、ビジネス



ビジネス目的の移動・交通手段として

リニア中央新幹線等で本県を訪れる出張者や県内のビジネスパーソンの、ビジネス目的の移動・交通手段としての利活用等

03、地域交通



地域住民の移動・交通手段として

交通不便地域をはじめとする住民の、日々の移動・生活を支える移動・交通手段としての利活用等

●————— 山梨県内におけるアクセス性の向上

●————— ● 地域としての魅力・競争力の向上 ————●

～ 開（甲斐）の国から空を駆ける～

空飛ぶクルマの利活用を通じ、特に“県内における移動の利便性”を向上させることで、地域社会・暮らしの維持・向上、経済活性化を図る

コンセプト

「空飛ぶクルマ」が日常に溶け込むモビリティとして一般的に活用されている**未来の山梨県**の絵姿を描く

登場人物視点の空飛ぶクルマのリアルな体験



これまでありそうでなかったライフスタイルの可能性の広がり

県民

未来のモビリティ社会到来ワクワク感

事業者

ビジネス展開期待感

映像概要

タイトル：『空を駆ける』 * 山梨を空飛ぶクルマが様々な場面で駆け巡る様子を表現

映像仕様：〔時間〕3分程度 / 15秒程度 〔言語〕日本語

〔舞台〕2040年 * 日常生活にまで自由な「空の移動」が実現された世界観

〔映像手法〕実写映像×CG（機体、ホログラム技術等） * ドローン空撮映像も活用

〔ユースケース〕観光 / ビジネス / 日常生活 * テンポよく映像を展開

ユースケース①【観光】

ペルソナ：山梨ならではの体験を楽しみたい観光客

登場人物：女性2名（県内 / 県外在住）

シーン：リニアで山梨へ遊びに来た友人とともに、空の飛行ならではの**上質な観光体験**を満喫。



車内でワインを楽しみながら、湖や富士山を望む

ユースケース②【ビジネス】

ペルソナ：県内外を忙しく行き来するビジネスパーソン

登場人物：ジュエリーデザイナーの男性

シーン：忙しい中でも空飛ぶクルマであれば**車内で商談後**、スムーズな移動で、**次のビジネス**へ。



ビジネスチャンス拡大

ユースケース③【日常生活】

ペルソナ：葡萄畑が広がる田舎に住む家族

登場人物：祖母と孫（女の子）

シーン：母から急遽夕飯のおつかいを頼まれた祖母と孫。**運転ができなくても**、空飛ぶクルマなら自宅から離れた目的地へ。帰宅時の**車内は夕焼け空**を一緒に眺める空間に。



日常の暮らしに新たな変化

エピソード



マルチロータータイプを採用

映像活用について

社会受容性の向上へ

2023(R5)

2024(R6)

2025(R7)

2023.2月
体験イベント

2024年～各イベント・セミナー等
での周知

SNS等も活用して効果的に発信



見て・触れて・考えよう！
空飛ぶクルマがある未来



やまなし
空のモビリティフェス

2024年2月16日金 ▶ 18日土

時間 10:00~17:00

場所 イオンモール甲府昭和
さくら広場、イオンホール、
2F・3Fさくら北ブリッジ



主催：山梨県 

山梨での「空」の可能性、
一緒に考えてみませんか？

「やまなし空のモビリティフェス」

ビジネス参入セミナー

【日時】 令和6年2月16日(金)13:30-16:30
【場所】 イオンモール甲府昭和(イオンホール)

申し込みはこちら



主催：山梨県 

山梨での「空」の可能性、
一緒に考えてみませんか？

「やまなし空のモビリティフェス」

ビジネス参入セミナー

【日時】令和6年2月16日(金)13:30-16:30


【場所】イオンモール甲府昭和(イオンホール)

申し込みはこちら



講演/ パネル	スケジュール (予定)	講演テーマ (予定)	所属	役職 氏名
講演	13:35- 14:00	空飛ぶクルマの概要と最新動向 ～新たに広がる空の利活用の可能性～	株式会社日本政策投資銀行 産業調査部 兼 航空宇宙室	調査役 岩本 学
講演	14:00- 14:20	航空機産業施策の動向、航空機電動化・次 世代エアモビリティへの期待	関東経済産業局 産業部製造産業課 航空宇宙・自動車産業室	係長 吉岡 哲平
講演	14:25- 14:55	山梨県における空の移動革命の実現に向け た取組、ビジネス環境調査業務の報告	山梨県知事政策局 リニア未来創造・推進 グループ デロイトトーマツコンサルティング合同会社 航空宇宙・防衛セクター	主任 宮川 新一 シニアコンサルタント 土屋 健太郎
講演	15:05- 15:35	テトラ・アビエーションの取組	テトラ・アビエーション株式会社	取締役 新井 秀美
パネル ディス カッショ ン	15:45- 16:25	パネルディスカッション ～空飛ぶクルマ関連ビジネスの可能性～	株式会社日本政策投資銀行	調査役 岩本 学 (Eメール)
			テトラ・アビエーション株式会社	取締役 新井 秀美 (Eメール)
			東日本旅客鉄道株式会社 イノベーション 戦略本部 デジタルビジネスユニット	チーフ 武藤 里美 (Eメール)
			株式会社ササキ	代表取締役 佐々木 啓二 (Eメール)
			株式会社AirX	代表取締役CEO 手塚 究 (Eメール)

参加無料



山梨県における「空の移動革命」実現に向けたワークショップを開催します！

(主催：山梨県、共催：株式会社政策投資銀行)

2025年大阪・関西万博で商用運行が予定されている「空飛ぶクルマ」。この空を駆ける新たなモビリティが実装された山梨では、どのような社会が待っているでしょうか。電動・自動で垂直離着陸する次世代のエア・モビリティが山梨での生活をどのように変えるのか、一緒に考えてみませんか？

日時・会場 各回定員30人程度

<p><甲府会場> 令和5年12月7日(木) ①10:00~13:00(集合時間 9:45) ②15:00~18:00(集合時間14:45) 場所：4U(フォー・ユー) (甲府市丸の内2-29-6クロススタイタ4F)</p>	<p><河口湖会場> 令和5年12月8日(金) ①13:00~16:00(集合時間 12:45) 場所：山梨県富士山世界遺産センター (南都留郡富士河口湖町船津5228)</p>
--	--

開催内容

【空飛ぶクルマの概略について(15分)】
 【講演(30分)】システムデザイン思考とは
 【ワークショップ(2時間)】

甲府会場①「ストレスのない移動」を実現するためには
 甲府会場②「空飛ぶクルマ」が提供する価値・実現する社会とは
 河口湖会場「空飛ぶクルマ」が提供する価値・実現する社会とは

講師：慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科
 白坂成功教授(監修)、中田実紀子特任助教、田中康平特任講師
 合同会社Judge Plus代表 広瀬 毅 氏

申込方法

令和5年12月4日(月)までに、以下のURL又はQRコードからお申込みください。
<https://forms.office.com/r/8TEodGWqPE>

【お問い合わせ先】
 山梨県リニア未来創造局・推進グループ
 TEL:055-223-1363
 Mail: linear-ms@pref.yamanashi.lg.jp



アイデアを出し合う参加者
 甲府市内



空飛ぶクルマ活用策探る

タクシー、宅配、会議室…

2025年の大阪・関西万博で商用運航が計画されている「空飛ぶクルマ」の活用策を話し合うイベントが7日、甲府市内で開催された。県担当者は「イベントを今後のネットワークづくりに生かしたい」と話した。

県の担当者はイベントの冒頭、空飛ぶクルマについて、ヘリコプターと比べ機材や運用コストが安く、騒音も小さく、安全性が向上して広く普及することが期待されると説明。地方では都市間移動や観光・レジャー、救命救急などで活用が想定され、世界各国で開発が進んでいるという。(小池直輝)

イベントは県と日本政策投資銀行が主催。大学生や金融機関、パソナ社の社員ら約30人が参加した。「見たことも聞いたこともない農村部でも都市部でもストレスなく移動できるようにするサービス・商品」をテーマに、参加者が意見を出し合った。

タクシーや医師の輸送、宅配サービスへの活用のほか、仕事ができる「空飛ぶ会議室」、飲食店の設置などのアイデアが出た。県の担当者は「イベントを今後のネットワークづくりに生かしたい」と話した。

- はじめに
- 山梨県の概要
- 山梨県の取り組みについて
(R5年度事業)
- **今後について**

「空の移動革命」の実現に向けた取り組みイメージ



- リニア中央新幹線の開業という歴史的な好機を生かし、世界に開かれた山梨の実現を目指すため、「空の移動革命」に向けた取り組みを開始
- R5年度は、山梨らしいコンセプトづくりや将来ビジョン・ロードマップの策定を行うとともに、空飛ぶクルマの理解促進と県内企業の関連ビジネスへの参入に向けた意識を醸成するため、体験イベントやビジネス参入セミナーの開催を予定
- 来年度以降も様々なステークホルダーの皆様と密に連携を図りながら、「空の移動革命」の実現に向けた取り組みを進め、地域の活性化や本県経済の発展に繋げていく



山梨県における空の移動革命の実現



山梨は、
挑戦と近い。
未来と近い。

空に“境”はありません。

「空飛ぶクルマ」の実現には、
様々なプレイヤーの皆様の参画が不可欠です。
山梨県では、推進ネットワークの活動等、
今後も皆様と連携して「空の移動革命」の実現に
向け取り組んでまいりたいと考えています。
引き続き、どうぞよろしくお願いいたします。



TRY! YAMANASHI!



こちらのQRコードから
山梨県における「空の移動革命」
実現に向けた取組をご覧いただけます。



山梨県 空の移動革命 検索